



笹かまぼこの紹介動画を撮影する子どもたち

小中学生 観光や歴史 動画制作

英語で松島ガイド

松島町の小中学生が地元の観光スポットを英語で紹介する動画が今月下旬、動画投稿サイト「ユーチューブ」の町公式チャンネルで公開された。小学5年生（中学3年生の計12人が外国語指導助手（ALT）の指導を受け、夏休み中に制作。投稿後の4日間で再生回数は1400回を超え、海外在住者から英語でコメントが寄せられるなど反響を呼んでいる。

再生回数上々 海外からも反響

公開された動画は「笹かまぼこ編」「五大堂編」「雄島編」の3本で、時間は最大2分程度。子どもたちは自分で考えた身ぶり手ぶりを交え、英語でそれぞれの歴史や由来、見どころを説明している。

子どもたちは動画への出演と英語のナレーションのほか、スマートフォンなどによる撮影、音楽や静止画を組み合わせた編集といった全工程を担った。ナレーションは動画とは別にマイクを使って収録した。

制作は7月下旬に開始。撮影など現地での活動に2日間、編集作業に4日間かけた。完成動画は8月18日に投稿

し、これまでに海外を中心に150件を超えるコメントが寄せられた。

松島二小5年の早坂心結さん(11)は「英語の発音が難しく、ナレーションを何度もとり直した。いろいろな単語を学べたので、これからも勉強していきたい」と笑顔で話した。

松島中3年の佐々木海風さん(15)は「たくさんさんのコメントをもらって自信になった。松島の魅力を知ってもらい、新型コロナウイルス収束後に来てくれたらうれしい」と語った。

活動は町教委の事業の一環。例年は近隣に住む外国人をモニターとして招待し、小中学生が対面で町内の観光エリアを案内していた。コロナ禍で昨年は中止となり、今年はガイド動画のウェブ公開に切り替えた。

内海俊行教育長は「動画の再生回数が伸びていて海外の需要があることが分かった。国際観光地の地の利を生かし、コロナ禍のピンチをチャンスと捉えて他ではできない学習活動を考えていきたい」と話した。